



自動ドアの整備や道路の線形改良の要望が出ている安行苑

道課には技師もいますので、デザインは、業者任せではなく木古内らしさを出すべきだと思います。

大野副町長 新幹線ビュースポット建設地の下にはトンネルがあり、構造計算をしたうえで認可をとらなければなりません。当町の技師にその資格はありませんので委託せざるを得ません。ただ、デザイン

ンについては、町の思いを伝えて設計していただきます。

**安行苑の自動ドア
暖房管理も含め整備を**

竹田委員 安行苑は知内町との共同施設ですが、暖房の管理や使用する方々のことを考えた場合、自動ドアの整備を検討できませんか。また、駐車場の整備に併せて、町道からまっすぐ駐車場に入れるように道路の線形改良ができませんか。

大瀬町民税務課長 自動ドアの整備や道路の線形改良については、建設水道課及び知内町と協議をし、秋まで結論を出していきます。

産業経済課

**ハンターの高齢化
後継者対策の考えは**

平野委員 ハンターの高齢化が進んでいます

が、ハンターの育成も含めて町としての後継者対策についてお尋ねします。

木村産業経済課長 ハンターを出動要請した場合は、有害鳥獣駆除自治体制度を活用し、町と有害鳥獣駆除協会から報償費を支出しています。今後、猟友会と協議しながら後継者対策について検討していきます。

まちづくり新幹線課

**空き家を含めた住居整備
担当課としての目標は**

平野委員 釜谷から札幌地区の空き家を含めた住居の整備を進めるにあたり、新年度は担当課としてどこまで実施するのか目標をお聞きます。また、いまのまちづくり新幹線課の体制では、スタッフ不足も懸念されますがどのように考えていますか。

審査を振り返って

予算等審査特別委員会
委員長 東出洋一



平成27年度予算は、昨年と同規模の95億円超の大型予算となりました。内容的には新幹線関連の整備事業、都市計画道路の整備、観光交流センターをはじめとするハード事業や開業に向けたソフト事業であります。

去る3月14日、北陸新幹線のオープニングセレモニー等が盛大に行われ、マスコミ報道されました。来年は、待ちに待った北海道新幹線が開業となり北海道経済、強いては木古内町の人口減少に歯止めが掛かり、地方創生に一翼を担ってくれることを期待します。

また、行政として一次産業をどうしていくのか、農業・漁業の将来像が見えていないのも事実です。行政の役割として現場の声に耳を傾け何を支援できるのか、今一度考えるべきです。

全ての基幹産業の底上げと全ての町民が木古内町の良さをPRすることが、新幹線開業後の木古内町が生き残る道であると思います。

福田まちづくり新幹線課長 空き家の整備については、いますぐ入居が可能なものや修理等により入居が可能なもの、修理等をしても全く入居できないものの3段階程度に分類したいと考えています。作業は、現在のまちづくり新幹線課で対応し、

各町内会の力も借りながら現地確認作業を進め、今年の夏頃を目途に整理をしていきたいと考えています。

教育委員会

**中学校のフェンス撤去
新設の考えはないのか**

吉田委員 中学校グラ